

平成27年度 大野市環境マネジメントシステム 活動報告書



大野市



目 次

- ★ 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ★ システムの適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ★ 環境管理組織・体制・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ★ 平成27年度実績値及び目標達成状況・・ 4～5
- ★ 大野市役所温室効果ガス排出量・・・・・・ 6～7
- ★ 法的及びその他の要求事項監視測定・・・・ 8
- ★ 緊急事態対応管理の状況・・・・・・・・・・・・ 9
- ★ 平成27年度内部監査状況・・・・・・・・・・・・ 10



環境方針

【基本理念】

- 1 清らかな水と美しい緑に恵まれた本市の環境は、先人が長い年月にわたり生活や生産において身近な自然を利用し、その恩恵に浴する中で大切に守り育ててきたものである。
- 2 しかしながら、資源とエネルギーの大量消費に支えられた今日の私たちの生活や生産活動は、廃棄物の増大や化学物質による環境汚染を引き起こすとともに、地球温暖化やオゾン層破壊など地球全体の環境に大きな影響を及ぼすようになっている。
- 3 恵み豊かな地域、さらには生きるものすべての生存の基盤である地球の環境を守っていくことは、現在の私たちに課された重大な責務であり、事業活動における環境への負荷低減を図り、循環と共生を基調に環境と調和したまちづくりを目指した活動を行っていくこととする。

【環境方針】

- 1 基本理念を念頭に、市自らの環境負荷低減に努めるため、環境マネジメントシステムを構築し、定期的に見直すことにより、継続的な改善を図り、環境に配慮した事務事業の実施や庁舎管理を行う。
- 2 本市の良好な環境を保全する施策を推進し、将来の世代へ引き継ぐため、環境に関する法令、協定及びその他の合意事項を守るとともに、環境汚染の未然防止を図るものとする。
- 3 環境マネジメントシステムの効果的な運用を図るため、環境に対する職員意識の高揚に努め、実践に必要な教育及び訓練を行う。
- 4 広く市民からの提案を求め、環境マネジメントシステムの運用結果を一般に公開し、積極的に事務事業活動に反映させる。

システムの適用範囲

環境マネジメントシステムは、下記施設等の組織におけるエコオフィス活動、環境関連法令等の順守活動、事故等の緊急事態への準備及び対応に適用しています。

- a) 大野市役所本庁舎（福井県大野市天神町1番1号）
- b) 結とびあ／福祉こども課・健康長寿課（福井県大野市天神町1番19号）
- c) 休日急患診療所／健康長寿課（福井県大野市篠座117号6番地の1）
- d) 浄化センター／市民生活課（福井県大野市堂本第27号71番地）
- e) 下水処理センター／上下水道課（福井県大野市南新在家第28号3番地の2）
- f) 和泉支所／住民振興課（福井県大野市朝日第16号3番地の4）
- g) 学びの里「めいりん」／生涯学習課・大野公民館（福井県大野市城町9番1号）
- h) 大野市博物館／生涯学習課文化財保護室（福井県大野市天神町2番4号）
- i) 下庄公民館（福井県大野市中野町三丁目1番16号）
- j) 乾側公民館（福井県大野市牛ヶ原第66号1番地）
- k) 小山公民館（福井県大野市下舌第10号9番地）
- l) 上庄公民館（福井県大野市稲郷第43号2番地）
- m) 富田公民館（福井県大野市上野第42号6番地の1）
- n) 阪谷公民館（福井県大野市伏石第11号14番地）
- o) 五箇公民館（福井県大野市西勝原第13号1番地の5）
- p) 和泉公民館（福井県大野市朝日第17号5番地）
- q) 消防署（福井県大野市天神町7番地14号）
- r) 和泉分遣所（福井県大野市朝日第16号3番地の8）

環境管理組織・体制

環境管理総括者（市長）

環境管理副総括者（副市長、教育長）

環境管理委員会

環境管理総括者（市長）
 環境管理副総括者（副市長、教育長）
 環境管理責任者（民生環境部長）
 環境管理推進責任者（各部長、各局長、
 和泉支所長、会計管理者、消防長）
 環境管理推進員（各課長等）

環境管理責任者（民生環境部長）

**環境管理事務局
（市民生活課）**

実行部門

企画総務部 環境管理推進責任者（部長）
 企画財政課 環境管理推進員（課長）
 総務課 環境管理推進員（課長）
 税務課 環境管理推進員（課長）
 防災防犯課 環境管理推進員（課長）

和泉支所 環境管理推進責任者（所長）
 住民振興課 環境管理推進員（課長）

会計課 環境管理推進責任者（会計管理者）
 会計課 環境管理推進員（課長）

民生環境部 環境管理推進責任者（部長）
 市民生活課 環境管理推進員（課長）
 （浄化センター）
 福祉こども課 環境管理推進員（課長）
 健康長寿課 環境管理推進員（課長）
 上下水道課 環境管理推進員（課長）

議会事務局 環境管理推進責任者（局長）
 議会事務局 環境管理推進員（次長）

教育委員会事務局 環境管理推進責任者（局長）
 教育総務課 環境管理推進員（課長）
 生涯学習課 環境管理推進員（課長）
 各公民館 環境管理推進員（各館長）

産経建設部 環境管理推進責任者（部長）
 商工観光振興課 環境管理推進員（課長）
 農業林業振興課 環境管理推進員（課長）
 建設整備課 環境管理推進員（課長）
 幹線道路課 環境管理推進員（課長）
 建築営繕課 環境管理推進員（課長）

消防本部 環境管理推進責任者（消防長）
 消防署 環境管理推進員（署長）
 和泉分遣所 環境監視推進員（所長）

行政委員会事務局 環境管理推進責任者（局長）
 行政委員会事務局 環境管理推進員（次長）

平成27年度実績値及び目標達成状況

環境マネジメントシステムでは、環境に与える負荷を出来る限り軽減することを目的として、10の管理項目について、年度ごとに目標数値を設定し、エコオフィス活動に取り組んでいます。

【平成27年度取り組み状況】

No	管理項目	目標内容	主管課等	目標値	実績値	対基準年度値比 (実績値/目標値)	達成度 評価
1	電力使用量削減	平成24年度実績を維持する。 [kWh]	大野市役所本庁舎、結とびあ、浄化センター、休日急患診療所、和泉支所、各公民館（大野公民館を除く）、消防署、和泉分遣所	2,434,308	2,658,080	109.2%	△
2	灯油・重油使用量削減	暖房用灯油使用量は平成24年度実績を維持する。[ℓ]	浄化センター、休日急患診療所、下水処理センター、和泉支所、各公民館（大野公民館を除く）、消防署、和泉分遣所	27,139	14,996	55.3%	◎
		暖房用重油使用量は平成24年度実績を維持する。[ℓ]	結とびあ、阪谷公民館、和泉公民館、消防署	49,609	51,600	104.0%	△
3	一般ごみ排出量抑制	平成24年度実績を維持する。 [g]	全部課等	7,030,780	6,061,410	86.2%	◎
4	グリーン購入推進	平成24年度実績を維持する。 [%]	全部課等（和泉分遣所を除く）	86.20%	83.72%	-2.5ポイント	△
5	用紙使用量削減	平成24年度実績を維持する。 [枚(A4換算)]	全部課等	4,243,013	3,613,154	85.2%	◎
6	水使用量削減	平成24年度実績を維持する。 [㎡]	大野市役所本庁舎、浄化センター、休日急患診療所、和泉支所、乾側公民館、小山公民館、富田公民館、和泉公民館、消防署、和泉分遣所	14,388	10,836	75.3%	◎

7	公用車燃料 消費量削減	平成24年度実績を維持する。 [ℓ]	公用車所有課等	57,050	53,650	94.0%	○
8	通勤車燃料 消費量削減	平成24年度実績を維持する。 [回]	全部課等（五箇公民館、和泉分遣所を除く）	5,388	4,229	78.5%	×
9	LPガス使用量削減	平成24年度実績を維持する。 [㎡]	浄化センター、和泉支所、各公民館（大野、五箇公民館を除く）、消防署、和泉分遣所	1,344	982	73.1%	◎
10	職員出張時の公共交通機関利用促進	平成24年度実績を維持する。 [%]	全部課等（五箇、和泉公民館、和泉分遣所を除く）	21.60%	36.22%	+14.6ポイント	◎

達成度評価について①

- ◎：目標値に対して10%以上の達成
- ：目標値に対して0%～10%の達成
- △：目標値に対して0%～10%の未達成(0%含まず)
- ×：目標値に対して10%以上の未達成

達成度評価について②

「グリーン購入推進」・「通勤車燃料消費量削減」・「職員出張時の公共交通機関利用促進」は対基準年度比100%以上で目標達成(太枠部分)。それ以外の項目は対基準年度比100%以下で目標達成。

☆ 評 価 ☆

10の管理項目について、11の目標内容を設定してエコオフィス活動に取り組んだ結果、7つの目標内容は達成できましたが、4つの目標内容は達成できませんでした。

【良い実績の管理項目】

「灯油使用量削減」・「LPガス使用量削減」を大幅に達成できました。これは大野市役所新庁舎の稼働開始により、新庁舎で灯油・LPガスを使用しなくなったためです。

その他としては、「一般ごみ排出量抑制」・「用紙使用量削減」・「水使用量削減」・「職員出張時の公共交通機関利用促進」を大幅に達成できました。

【悪い実績の管理項目】

「通勤車燃料消費量削減」が大幅な未達成でした。これは、マイカー通勤者を対象として、ノーマイカー通勤に取り組むものですが（※ノーマイカー通勤者は対象外）、平成26年度までノーマイカー通勤に多く取り組んでいたマイカー通勤者が、平成27年度よりノーマイカー通勤者（対象外）となったためです。

大野市役所温室効果ガス排出量

大野市では、大野市環境マネジメントシステムを、大野市役所地球温暖化対策実行計画として位置づけており、平成27年度は平成24年度を目標値として温室効果ガス排出量抑制に努めてまいりました。

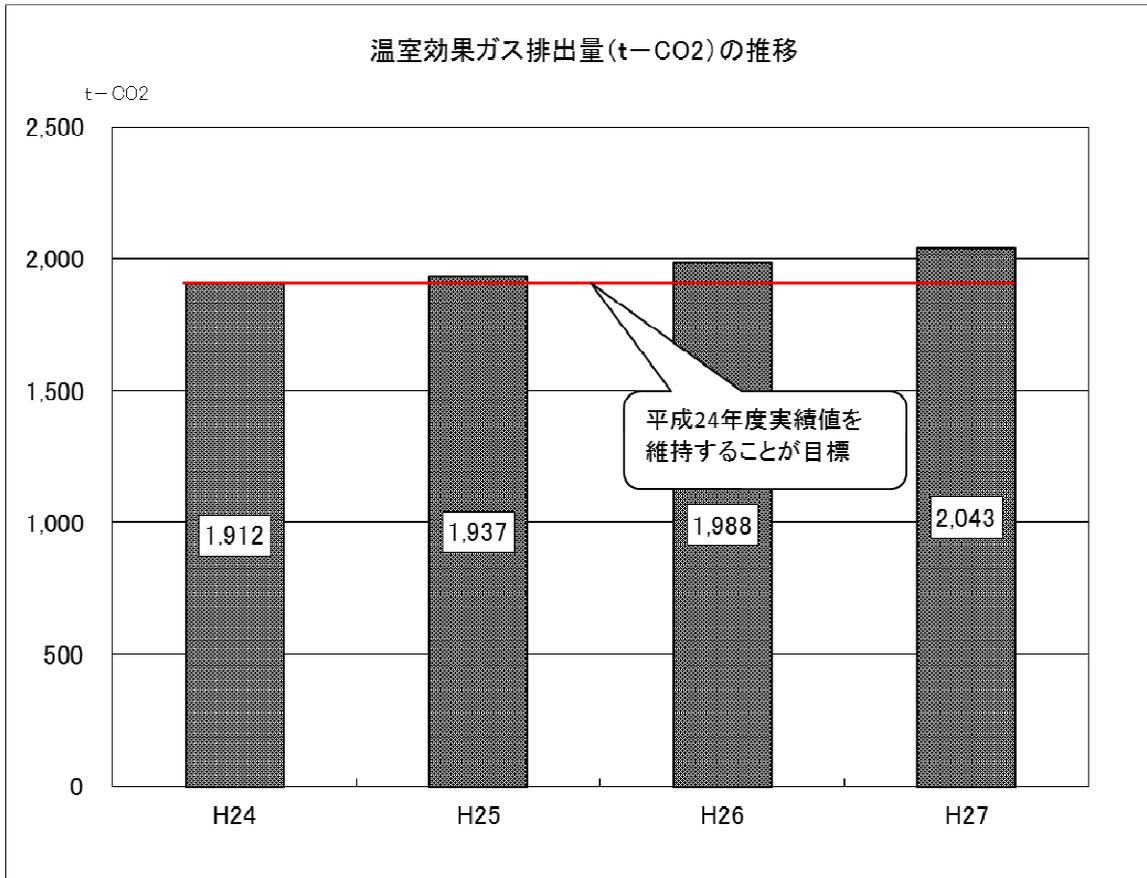
平成27年度エコオフィス活動の実施による大野市役所温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は、以下のとおりとなりました。

温室効果ガス総排出量 (二酸化炭素換算)	2,042,999 kg-CO₂
---------------------------------	------------------------------------

【温室効果ガス排出量の内訳】

項 目		活動量	排出係数	排出量
			kg-CO ₂ /kWh,kg,l	kg-CO ₂
電力使用量(kWh)		2,658,080	0.65	1,727,752.0
燃料使用量	ガソリン (ℓ)	41,956	2.32	97,337.9
	軽 油 (ℓ)	11,694	2.58	30,170.5
	灯 油 (ℓ)	14,996	2.49	37,340.0
	A 重油 (ℓ)	51,600	2.71	139,836.0
	LP ガス (kg) ※1m ³ =1.992kg	1,956	3.00	5,868.0
小 計				2,038,304.4
項 目		活動量	地球温暖化係数	排出量
				kg-CO ₂
自動車から排出される メタンガス (kg-CH ₄)		7.30	25	182.5
自動車から排出される 一酸化二窒素 (kg-N ₂ O)		15.14	298	4,511.7
合 計				2,042,998.6

図1 年度別温室効果ガス排出量



※温室効果ガス排出量の算定にあたっては、原則として、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第三条に定める排出係数を用いて算定しています。

※京都議定書の第1約束期間が経過しましたので、平成25年度以降は、第1約束期間最終年度である平成24年度実績値を維持することを目標とします。

☆評価☆

平成27年度の温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)を算出した結果2,043 t・CO₂となり、平成24年度と比べると約7%上昇しました。

これの主な原因は、平成27年度に大野市役所新庁舎が稼働開始したことによります。旧庁舎と比べ、新庁舎の延床面積が大きいので、その分の電力使用量が増加しました。

しかしながら、温室効果ガス排出量に換算したエネルギー消費の中で、電力使用量は大きな割合を占めているので、排出量抑制のために今後も節電に努めて行く必要があります。

法的及びその他の要求事項監視測定

市が実施するすべての事務事業に適用される法的及びその他の要求事項について、法令等に規定する方法及び基準を順守し、大気・水質・土壌等の汚染の予防に努めています。

【法令維持管理項目等】

著しい環境側面等	関係法令等	施設（主管課等）
公用車使用による大気汚染等の防止	道路運送車両法	公用車を所有する各課等
建設資材の分別解体等及び再資源化等の促進	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	公共工事を実施する各課等
産業廃棄物の適正処理	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 等	産業廃棄物を排出する各課等
医療産業廃棄物の適正処理		休日急患診療所（健康長寿課）
浄化槽による処理水の監視	建築基準法 等	浄化槽を設置する各課等
火災の発生予防 （消防用設備の点検）	消防法 等	総務課、浄化センター（市民生活課）、休日急患診療所（健康長寿課）、下水処理センター（上下水道課）、生涯学習課（大野公民館含む）、各公民館
医療薬品の適正管理	薬事法	休日急患診療所（健康長寿課）、消防署
毒物・劇物の適正管理	毒物及び劇物取締法	浄化センター（市民生活課）、下水処理センター（上下水道課）
漏油の発生予防	消防法 等	浄化センター（市民生活課）、消防署、阪谷公民館、和泉公民館
焼却灰、煙突灰の適正処理 し渣、汚泥焼却ガスの監視	ダイオキシン類対策特別措置法	浄化センター（市民生活課）
し尿処理水の水質の監視	水質汚濁防止法 等	浄化センター（市民生活課）、下水処理センター（上下水道課）
公共下水道処理施設からの放流水の監視	下水道法 等	下水処理センター（上下水道課）
安全で安定した飲料水供給のための点検、調査	水道法 等	上下水道課
水道施設の保守点検・修繕等		
救急資器材の維持管理	労働安全衛生法 等	消防署

緊急事態対応管理の状況

緊急事態として特定された事項の主管課等は、緊急事態手順書を定め、年1回定期的に手順書等に基づいて対応を試行し、必要に応じて手順を見直して緊急事態発生時に備えることとしています。

緊急事態に特定された事項	施設（主管課等）
火災発生時の被害拡大防止	総務課、浄化センター（市民生活課）、休日急患診療所（健康長寿課）、下水処理センター（上下水道課）、和泉支所（住民振興課）、生涯学習課（大野公民館含む）、各公民館
漏油発生時の被害拡大防止	浄化センター（市民生活課）、阪谷公民館、和泉公民館、消防署
医薬品の流出、破損（医療品等の保管、在庫管理）	休日急患診療所（健康長寿課）、消防署
下水未処理水の漏洩発生時の被害拡大防止	下水処理センター（上下水道課）

平成27年度内部監査状況

平成28年1月6日（水）から1月20日（水）の期間に、大野市環境マネジメントシステムが適切に運用されているか、適用範囲の全ての課等において内部監査を実施しました。

監査の結果、30課等の中で軽不適合が4課等において4項目ありました。また、観察事項が13課等において14項目ありました。

軽不適合としては、エコオフィス活動の一部項目で目標達成不可能との指摘がありました。また観察事項としては、エコオフィス活動の一部項目で目標達成困難との指摘や、教育訓練計画書等の書類に不備が見られるとの指摘がありました。

内部監査の結果を踏まえ、不適合が生じた原因を明らかにし、是正・予防処置を検討して、平成28年度エコオフィス活動の目標達成等に向けて取り組んでいきます。

【内部監査状況の内訳】

	対象課等数	重不適合 〇は該当する課等の数	軽不適合 〇は該当する課等の数	観察事項 〇は該当する課等の数
企画総務部	4	0	1 (1)	2 (2)
民生環境部	4	0	1 (1)	3 (3)
産経建設部	5	0	0	2 (2)
教育委員会事務局	2	0	1 (1)	1 (1)
各公民館	9	0	1 (1)	3 (3)
消防本部	2	0	0	2 (1)
その他（会計課、住民振興課、議会事務局、行政委員会事務局）	4	0	0	1 (1)
合 計	30	0	4 (4)	14 (13)